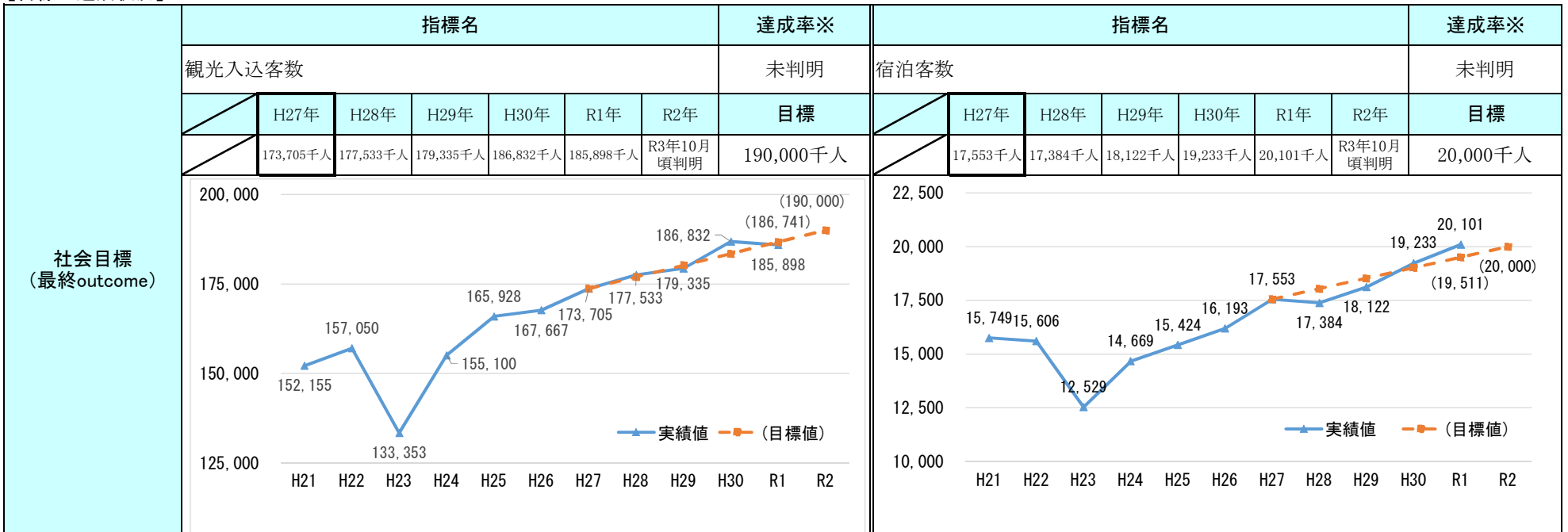


総合計画政策評価帳票  
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	千葉の「宝」を生かした観光立県の推進と移住・定住の促進		施策主務課	商工労働部観光企画課	施策コード	Ⅲ-1-①
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備		1 国内外の多くの人々が集う魅力ある県づくり			
施策目標(定性目標)	本県の持つ魅力を十分に生かした魅力的な観光地づくりを推進するとともに、効果的なプロモーション活動により観光入込客・宿泊客をはじめとする交流人口の拡大と移住・定住の促進を図り、地域の活性化を目指します。					
社会目標(定量目標)	観光入込客数			宿泊客数		
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	192,781,832	192,907,595	192,399,495	192,483,142	
	決算額(千円)	134,195,393	127,787,269	128,062,718	331,550,619	
施策内の主な取組	取組名			令和2年度予算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	1 何度でも訪れたい魅力ある観光地づくり			616,020	342,638	
	2 観光産業の競争力強化			190,158,756	330,158,420	
	3 戦略的な国内観光プロモーションの展開			1,035,326	781,287	
	4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進			573,280	231,344	
	5 地域の特性を生かした移住・定住の促進			99,760	36,930	
施策計			192,483,142	331,550,619		

【目標の達成状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※達成率=(令和2年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(目標値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

補助指標 および 行政活動目標等	進展度		
	(達成数/設定数) = 3 / 8		

### 【主な実施事項と成果】

<b>主な実施事項と成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある観光地づくりに向けて、観光公衆トイレや駐車場などの整備に対し観光関連施設62箇所、市町村等が地域資源の活用等により持続可能な観光地域づくりを目的とした観光コンテンツの充実や観光プロモーションなどの取組に対して8市町村に対し補助を行いました。</li> <li>県観光ホームページでは、観光施設の休業情報やイベントの中止情報を掲載するとともに、テレワークやWEB会議が増えている機会を捉え、新型コロナウイルスの感染収束後の来訪のきっかけとなるよう、観光スポット等のバーチャル背景を無償提供する特設ページを作成したほか、SNS (Facebook、twitter、Instagram) での情報発信を行いました。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じた上、首都圏(東京都)、中京圏及び県内において、現地旅行会社と本県観光事業者による観光商談会(合計237人参加)を実施しました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航制限のため、海外で開催された旅行博への出展、現地商談会への参加、現地旅行会社への訪問セールスは実施できませんでした。外国人向けPR用観光ガイド(英語・中国語(簡体字))を作成したほか、外国人(英語圏)向けWEBページの開設、多言語での問合せに会話形式で対応するAIチャットボットの導入やSNSを通じた情報発信等によりPRを実施しました。</li> <li>市町村等と連携してオンライン移住フェアに出展(2回)し、ちばの暮らしに関する情報提供及び移住相談を行いました(相談件数5件)。</li> </ul>
------------------	---

### 【要因分析】

<b>社会目標の 要因分析</b>	<p>観光入込客数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年実績は、1億8,590万人で、平成23年以来8年ぶりに対前年比が減少となりました。主な減少理由としては、令和元年房総半島台風等の影響による施設の臨時休業等によるものと考えられます。一方で、元号改正に伴いゴールデンウィークが10連休となったこと等の影響により、8月までの観光入込客数が増加傾向であったため、前年と比較して大幅な減少とはなりません。</li> <li>令和2年は、緊急事態宣言の発令や新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛の動き等の影響を受け、前年より入込客数は大きく減少すると想定されます。</li> <li>行政活動目標との関係では、県観光ホームページで千葉県旬の情報を発信する特集ページを作成したほか、SNS (Facebook、twitter) により、タイムリーで効果的な情報発信を行うことにより、アクセス件数が増えたことから、前年と比較して大幅な減少とならなかったと考えられます。</li> </ul>
	<p>宿泊客数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年実績は2,010万人で、前年と比較して4.5%増加しました。</li> <li>令和元年は、観光庁の「宿泊旅行統計調査」によると、本県の外国人延べ宿泊客数は前年比16.2%増加しましたが、例年に比べて増加率が高くないのは、9月の台風15号や10月の台風19号・大雨の影響等により国内客の減少の要因もあると考えられます。</li> <li>行政活動目標との関係では、様々な手法による海外プロモーションを展開したことから、外国人延宿泊客数が増加するなど、宿泊客数の増加に寄与したと考えられます。</li> </ul>

### 【課題】

<b>要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県における観光は、日帰り観光客の割合が高く、宿泊を伴う観光や滞在の長時間化を促す必要があります。</li> <li>県観光ホームページにおいては、即時性・臨場感等を意識した効果的な情報発信を行う必要があります。</li> <li>各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況と訪日需要を見極めつつ、海外からの渡航が本格化し、インバウンド需要が回復した際には、一早く本県を目的地として選んでもらえるよう、効果的なプロモーションが必要です。</li> <li>セミナー等における幅広い相談機会を確保するとともに、移住検討者ごとに、その志向や特性に合わせた情報提供や移住支援を実施する必要があります。</li> </ul>
--	--

【取組方針】

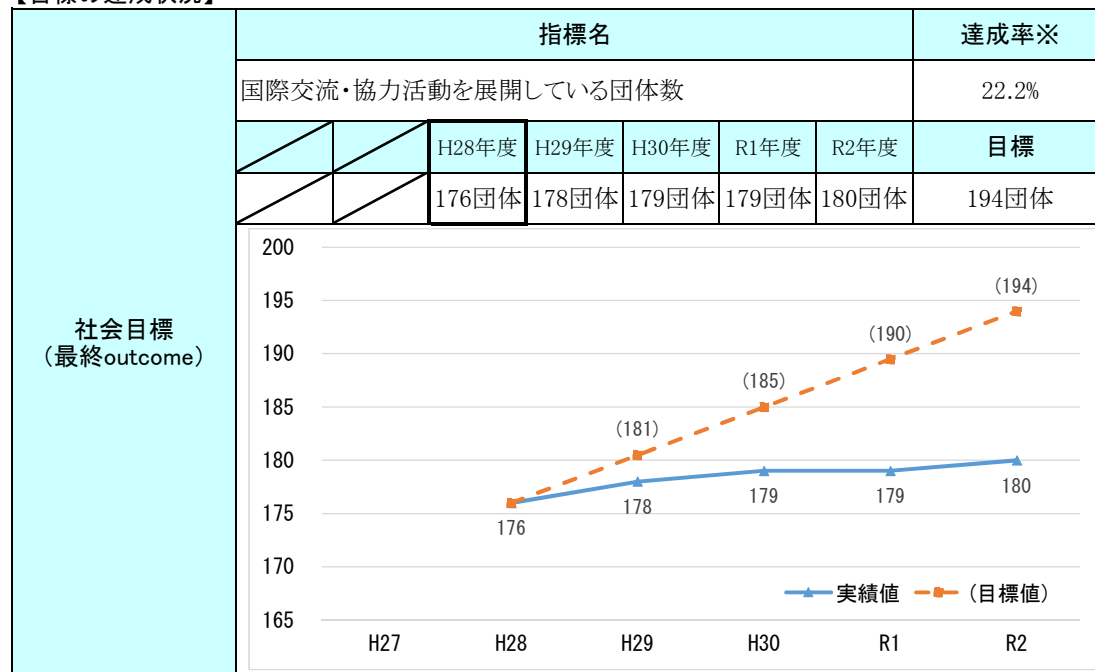
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光地魅力アップ整備事業については、補助制度の利点を十分に示しながら、商工会議所など各関係団体等を通じて広く周知することに加え、民間事業者への直接的な周知を行うなどして整備を促進していきます。また、観光地域づくり育成支援事業については、支援をより効果的に行うため、事業計画の策定支援や事業の磨き上げのためのアドバイザー派遣を行い、「新しい生活様式」に対応した観光地域づくりを促進していきます。</li><li>・県観光ホームページそのものの認知度向上を図るため、旬の情報をまとめた特集記事など多様なコンテンツを作成し、幅広い魅力的な観光情報の掲載を継続します。また、SNS (Facebook、twitter、Instagram) を活用して、タイムリーな情報発信を積極的に行います。</li><li>・首都圏、東北圏及び中京圏等でのプロモーションを積極的に展開するとともに、県内観光関係者が現地訪問を行うことなどによる誘致活動を実施します。</li><li>・各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、誘客可能となった国、地域から国 (JNTO) と連携して現地プロモーションを行っていきます。</li><li>・市町村が行う移住・定住促進のための取組を支援するとともに、県内の移住・定住に関する情報を発信するため、市町村と連携してホームページなど各種媒体を活用した情報発信や移住フェアへの出展を行います。また、市町村の施策立案に役立つ各種情報の収集・分析を行うとともに、その成果の共有と相談に対応する市町村職員等の資質向上を図るため、研修会を充実させます。</li></ul>
---------------------------	--

総合計画政策評価帳票  
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	国際都市として発展するCHIBAづくり		施策主務課	総合企画部国際課	施策コード	Ⅲ-1-②
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備		1 国内外の多くの人々が集う魅力ある県づくり			
施策目標(定性目標)	国際交流・協力の活発化、県内企業の海外取引や県産農林水産物輸出の促進、観光・MICE誘致などの展開や、外国人県民にも暮らしやすい多文化共生社会づくりを進め、国際社会とともに発展する県づくりを推進します。					
社会目標(定量目標)	国際交流・協力活動を展開している団体数		-			
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	3,310,026	3,886,239	6,021,396	3,012,544	
	決算額(千円)	3,117,164	3,661,322	5,693,205	2,379,706	
施策内の主な取組	取組名			令和2年度予算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	1 国際交流、国際協力の活発化			137,024	33,738	
	2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり			42,019	24,913	
	3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進			833,586	583,292	
	4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進			266,074	96,642	
	5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化			1,733,841	1,641,121	
施策計			3,012,544	2,379,706		

【目標の達成状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※達成率=(令和2年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(目標値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

補助指標 および 行政活動目標等	進展度		
	(達成数/設定数) =	4 / 11	36.4%

### 【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力等ネットワーク会議は、新型コロナウイルス感染症の影響によりウェブ開催となりましたが、新型コロナウイルス感染症影響下での団体活動や災害時の外国人支援等、参加者に有益となるテーマで分科会を行い、関係団体同士の緊密な意見交換・情報交換を行いました。</li> <li>外国人県民が地域の一員として安心して生活するための地域日本語教育※を推進していくため、地域日本語教育に関する県内の実態調査を行い、その結果を踏まえて、具体的な取組みをまとめた「千葉県地域日本語教育推進事業プラン」を策定しました。</li> <li>新たに輸出に取り組む生産者団体等への助成を行うとともに、トップセールスで関係を構築したタイ、マレーシア、シンガポールにおける現地バイヤーと連携して、飲食店、小売店等でフェアなどを開催しました。</li> <li>外国人観光客からの要望が多い公衆無線LAN環境を整備するため、主要観光施設や宿泊施設を中心に31箇所の整備に対して補助を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、整備予定であった1箇所は中止となりました。</li> <li>MICE※については、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー(CCB-IC)を中心として、市町村や関係機関との連携により、誘致に取り組みました。令和2年度は、CCB-ICにより、「国際シロイヌナズナ研究会議(ICAR 2023)」など国際会議(JNTO基準※)の誘致に52件成功しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの誘致活動が中止やハイブリッド、オンライン開催となりました。</li> </ul> <p>※地域日本語教育:地域の日本語教室で、地域住民が中心となってボランティアで日常生活に必要な日本語を外国人に教育するもの。  ※MICE:企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント・展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。  ※JNTO基準:参加者50人以上、参加国3カ国以上、会期1日以上等</p>
-----------	--

### 【要因分析】

社会目標の 要因分析	国際交流・協力活動を展開している団体数	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力活動を展開している団体数は伸び悩み、目標に対する達成率は22.2%でした。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のための出入国制限及び国内での行動制限により、新たに国際交流・協力活動を開始しにくい状況にあるため、団体設立に向けた気運が高まっていないと考えられます。</li> <li>語学ボランティアの活動機会も新型コロナウイルス感染症拡大による相次ぐイベントの中止により減少し、国際交流・協力活動への関心の喚起を果たせなかったということもあります。</li> </ul>
---------------	---------------------	---

### 【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブによる交流など、新たな交流形態を検討するとともに、新たな交流形態への参加の敷居を低くする工夫をする必要があります。</li> <li>活動機会が少ない中でも語学ボランティアの能力やモチベーションが低下しないように努める必要があります。</li> <li>海外展開を検討している中小企業を掘り起こし、県やジェトロ※が行う各種支援策を正しく理解し効果的に活用してもらう必要があります。</li> <li>各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況と訪日需要を見極めつつ、海外からの渡航が本格化し、インバウンド需要が回復した際には、一早く本県を目的地として選んでもらえるよう、SNSを活用した情報発信等の効果的なプロモーションが必要です。</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピックの開催都市としてのブランドを生かし、千葉の魅力を経済的にPRし、本県へのMICE誘致につなげていく必要があります。また、オンライン形式など新しい形式の誘致活動に対応していく必要があります。</li> </ul> <p>※ジェトロ:独立行政法人日本貿易振興機構。日本企業の輸出支援、地域経済活性化支援、外国企業誘致支援などを行います。</p>
----------------------------------	---

### 【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブを活用するなど、新たな交流形態による交流を実施してまいります。また、ウェブによる場合は、開催周知の際に参加用ソフトウェアの使用方法を案内するなどの工夫を行うことにより、より多くの方の参加を促します。</li> <li>引き続き国際交流イベントやスポーツ大会等、ボランティアの活動機会に関する情報を関係機関から収集し、語学ボランティア制度の活用を図ります。</li> <li>企業の海外展開を支援するジェトロ千葉、千葉県産業振興センター、千葉県貿易協同組合等支援機関との情報共有に努め、連携を密にすることにより、企業が抱える課題やニーズを把握し、適切な情報提供や支援につなげます。</li> <li>SNSを活用した情報発信等を行うことにより、県内観光地の魅力の周知を図るとともに、各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、誘客可能となった国・地域から国(JNTO)と連携して現地プロモーションを行ってまいります。</li> <li>MICEの誘致については、新しい形式の誘致活動に対応していくとともに、MICE関係機関との連絡会議を通じるなどしてCCB-ICをはじめ関係機関との連携強化を図り、情報共有や誘致活動を行うことなどによって、より一層の誘致競争力の強化に努めてまいります。</li> </ul>
-------------------	---

### Ⅲ－１－①千葉の「宝」を生かした観光立県の推進と移住・定住の促進

- 1 何度でも訪れたい魅力ある観光地づくり
- 2 観光産業の競争力強化
- 3 戦略的な国内観光プロモーションの展開
- 4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進
- 5 地域の特性を生かした移住・定住の促進

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 何度でも訪れたい魅力ある観光地づくり		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課		取組コード	Ⅲ-1-①-1	
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	予算額(千円)	658,800	601,700	689,800	616,020			
	決算額(千円)	484,336	338,820	327,515	342,638			

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																						
	観光地魅力アップ整備事業等整備箇所数	29箇所 (R元年度実績値)	35箇所 (R2年度目標値)	62箇所 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>観光地魅力アップ整備事業等整備箇所数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>28</td><td>24</td></tr> <tr><td>H22</td><td>24</td><td>24</td></tr> <tr><td>H23</td><td>38</td><td>24</td></tr> <tr><td>H24</td><td>27</td><td>24</td></tr> <tr><td>H25</td><td>47</td><td>24</td></tr> <tr><td>H26</td><td>63</td><td>24</td></tr> <tr><td>H27</td><td>77</td><td>24</td></tr> <tr><td>H28</td><td>52</td><td>24</td></tr> <tr><td>H29</td><td>51</td><td>55</td></tr> <tr><td>H30</td><td>38</td><td>47</td></tr> <tr><td>R1</td><td>47</td><td>47</td></tr> <tr><td>R2</td><td>62</td><td>35</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	28	24	H22	24	24	H23	38	24	H24	27	24	H25	47	24	H26	63	24	H27	77	24	H28	52	24	H29	51	55	H30	38	47	R1	47	47	R2	62	35
年度	実績値	目標値																																										
H21	28	24																																										
H22	24	24																																										
H23	38	24																																										
H24	27	24																																										
H25	47	24																																										
H26	63	24																																										
H27	77	24																																										
H28	52	24																																										
H29	51	55																																										
H30	38	47																																										
R1	47	47																																										
R2	62	35																																										
観光地域づくり育成支援事業による支援市町村数	7市町村 (R元年度実績値)	10市町村 (R2年度目標値)	8市町村 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>観光地域づくり育成支援事業による支援市町村数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>14</td><td>12</td></tr> <tr><td>H22</td><td>24</td><td>12</td></tr> <tr><td>H23</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr><td>H24</td><td>10</td><td>12</td></tr> <tr><td>H25</td><td>13</td><td>12</td></tr> <tr><td>H26</td><td>19</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19</td><td>12</td></tr> <tr><td>H28</td><td>14</td><td>12</td></tr> <tr><td>H29</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr><td>H30</td><td>16</td><td>16</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>R2</td><td>8</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	14	12	H22	24	12	H23	12	12	H24	10	12	H25	13	12	H26	19	12	H27	19	12	H28	14	12	H29	20	20	H30	16	16	R1	10	10	R2	8	10	未達成
年度	実績値	目標値																																										
H21	14	12																																										
H22	24	12																																										
H23	12	12																																										
H24	10	12																																										
H25	13	12																																										
H26	19	12																																										
H27	19	12																																										
H28	14	12																																										
H29	20	20																																										
H30	16	16																																										
R1	10	10																																										
R2	8	10																																										

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある観光地づくりのため、観光公衆トイレや駐車場などの観光関連施設62箇所の整備に対し補助を行いました。</li> <li>市町村等が地域資源の活用等により持続可能な観光地域づくりを目的とした観光コンテンツの充実や観光プロモーションなどの取組に対して8市町村に対し補助を行いました。</li> <li>新たな観光需要を掘り起こすため、鉄道事業者、市町村、観光事業者等と連携したフリー切符の販売を行いました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地魅力アップ整備事業については、昨年度は和式便器を洋式化するなど小規模な整備の要望が多かったが、ここ数年は市町村からの要望数は一定の数で推移しており、市町村による整備はある程度進んでいることが伺われます。民間事業者による整備にはまだ需要があると考えられ、引き続き促進していく必要があります。</li> <li>新型コロナウイルスの感染防止に向けて「新しい生活様式」を取り入れた観光地域づくりに取組んでいく必要があります。</li> <li>本県は日帰り客が多く、訪問地に偏りが見られるという特徴があります。</li> <li>鉄道を利用したフリー切符については、さらなる利用促進のための広報周知が求められます。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地魅力アップ整備事業については、民間事業者に制度やその利点などについて、十分に認知される必要があります。</li> <li>「新しい生活様式」を取り入れた観光地域づくりについては、まだ取組が進んでいない市町村等へ助言や情報提供を行っていく必要があります。</li> <li>観光客の宿泊・滞在時間の長時間化を図るためには、単発のイベント等のプロモーションだけではなく、観光による地域づくりを計画的に進めていくことや市町村間で連携した取組を推進していく必要があります。</li> <li>観光資源の掘り起こしの継続、利用促進のための県内外への効果的なPRや旅行会社等との連携を図っていく必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地魅力アップ整備事業については、補助制度の利点を十分に示しながら、商工会議所など各関係団体等を通じて広く周知することに加え、民間事業者への直接的な周知を行うなどして整備を促進していきます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、手洗いの自動水洗化など新しいニーズが生まれたことから、当補助金の活用につなげていきます。</li> <li>観光地域づくり育成支援事業については、支援をより効果的に行うため、事業計画の策定支援や事業の磨き上げのためのアドバイザー派遣を行い、長期滞在・宿泊を促進し、観光消費額の増加に寄与する観光コンテンツの造成など、県内の観光地域づくりを推進していきます。</li> <li>夏期に比べ観光入込客数が落ち込む秋の観光シーズンに、フリー切符の販売による鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業を実施します。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 観光産業の競争力強化		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-2
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	190,153,055	190,155,520	190,203,148	190,158,756	
	決算額(千円)	132,048,200	125,851,769	126,564,826	330,158,420	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	千葉県優良県産品新規申請品数(新規)	66点 (R元年度実績値)	75点 (R2年度目標値)	0点 (R2年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心に期間限定アンテナショップを出店し、千葉県の特産品販売や地域のPRイベントを行い、本県の魅力を幅広く情報発信しました。また、訪日外国人観光客向けとして、成田国際空港内に県産品を取り扱うミニアンテナショップを設置しました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間限定アンテナショップの店舗スペースが限られているため、密になりやすい環境となっています。成田国際空港内ミニアンテナショップについては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年4月中旬から営業を休止しており、県産品等をPRできない状況となっております。</li> <li>令和2年度優良県産品推奨審査会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、試食を伴う官能審査を行わないとされたことから、新規申請品については審査しないことになりました。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間限定アンテナショップについては、感染症対策を講じた店舗運営が必要となります。成田国際空港内ミニアンテナショップについては、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めつつ、海外からの渡航が本格化し、インバウンド需要が回復した際には、来店者の確保につながるようPRを行う必要があります。</li> <li>新型コロナウイルスの感染状況の収束により、今後新規申請品の審査を行うこととなった際には、県ホームページ等において応募の呼びかけを行う必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内での感染状況だけでなく、各国の新型コロナウイルス感染症に対する国内対策や、出入国制限の状況を見ながら、効果的なPR方法等を検討していきます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、優良県産品申請の裾野拡大のため、県ホームページ等において応募の呼びかけを行っていきます。</li> </ul>



総合計画政策評価帳票  
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	3 戦略的な国内観光プロモーションの展開		取りまとめ担当課	商工労働部観光誘致促進課	取組コード	Ⅲ-1-①-3
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	882,360	998,196	892,686	1,035,326	
	決算額(千円)	837,015	953,710	862,131	781,287	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																	
	県観光ホームページアクセス件数		3,795,870件 (R元年度実績値)	3,796,000件 (R2年度目標値)	4,280,377件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>県観光ホームページアクセス件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>1,647,000</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>2,020,000</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,499,000</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,264,616</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,719,023</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,854,095</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,855,000</td><td>2,996,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,270,665</td><td>3,435,000</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,795,870</td><td>3,796,000</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4,280,377</td><td>3,796,000</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H23	1,647,000		H24	2,020,000		H25	2,499,000		H26	2,264,616		H27	2,719,023		H28	2,854,095		H29	2,855,000	2,996,000	H30	3,270,665	3,435,000	R1	3,795,870	3,796,000	R2	4,280,377	3,796,000
年度	実績値	目標値																																					
H23	1,647,000																																						
H24	2,020,000																																						
H25	2,499,000																																						
H26	2,264,616																																						
H27	2,719,023																																						
H28	2,854,095																																						
H29	2,855,000	2,996,000																																					
H30	3,270,665	3,435,000																																					
R1	3,795,870	3,796,000																																					
R2	4,280,377	3,796,000																																					
観光商談会参加者数		482人 (R元年度実績値)	増加を 目指します (R2年度目標)	237人 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>観光商談会参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>279</td></tr> <tr><td>H27</td><td>352</td></tr> <tr><td>H28</td><td>341</td></tr> <tr><td>H29</td><td>419</td></tr> <tr><td>H30</td><td>506</td></tr> <tr><td>R1</td><td>482</td></tr> <tr><td>R2</td><td>237</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H26	279	H27	352	H28	341	H29	419	H30	506	R1	482	R2	237	未達成																	
年度	実績値																																						
H26	279																																						
H27	352																																						
H28	341																																						
H29	419																																						
H30	506																																						
R1	482																																						
R2	237																																						

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県観光ホームページでは、観光施設の休業情報やイベントの中止情報を掲載しました。また、テレワークやWEB会議が増えている機会を捉え、新型コロナウイルスの感染収束後の来訪のきっかけとなるよう、観光スポット等のバーチャル背景を無償提供する特設ページを作成したほか、SNS(Facebook、twitter、Instagram)での情報発信を行いました。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じた上、首都圏(東京都)、中京圏及び県内において、現地旅行会社と本県観光事業者による観光商談会(合計237人参加)を実施しました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>県観光ホームページにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大状況に即した内容の情報を迅速に発信することが求められています。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東北圏等における商談会の開催を中止したことから、開催箇所は令和元年度に比べて3カ所減り(6カ所→3カ所)、参加人数も減少しました。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>県観光ホームページにおいては、即時性・臨場感等を意識した効果的な情報発信を行う必要があります。</li> <li>アフターオリンピックや新型コロナウイルスの感染収束後の旅行需要を見据えた上で、新たなニーズの形成に大きな影響力を持つメディアや旅行会社等に対して、本県の魅力を戦略的に情報発信し、積極的なプロモーションを展開する必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>県観光ホームページそのものの認知度向上を図るため、旬の情報をまとめた特集記事など多様なコンテンツを作成し、幅広い魅力的な観光情報の掲載を継続します。また、SNS(Facebook、twitter、Instagram)を活用して、タイムリーな情報発信を積極的に行います。</li> <li>首都圏、東北圏及び中京圏等でのプロモーションを積極的に展開するとともに、県内観光関係者が現地訪問を行うことなどによる誘致活動を実施します。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進		取りまとめ担当課	商工労働部観光誘致促進課	取組コード	Ⅲ-1-①-4
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	1,018,617	1,083,979	458,481	573,280	
	決算額(千円)	762,526	575,028	369,406	231,344	

補助指標 (中間outcome)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	外国人延宿泊者数	4,495千人 (R元年度実績値)	4,700千人 (R2年度目標値)	1,707千人 (R2年度実績値)		未達成
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	公衆無線LAN環境整備事業整備箇所数	38か所 (R元年度実績値)	41か所 (R2年度目標値)	31か所 (R2年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航制限のため、海外で開催された旅行博への出展、現地商談会への参加、現地旅行会社への訪問セールスは実施できませんでしたが、外国人向けPR用観光ガイド(英語・中国語(簡体字))を作成したほか、外国人(英語圏)向けWEBページやSNSを通じた情報発信等によりPRを実施しました。</li> <li>・訪日再開後のインセンティブツアーの誘致に繋げるため、県内の事業者とともに台湾の旅行会社とオンライン商談会を実施しました。</li> <li>・教育旅行については、受入れ実績はありませんでしたが、訪日再開後の誘致に繋げるため、台湾の教育関係者とオンライン意見交換会を実施しました。</li> <li>・県内オリンピック・パラリンピック競技会場及びその周辺からの周遊を意識して作成したガイドブックをフランス語、英語、ドイツ語、タイ語、スペイン語及びオランダ語で増刷しました。</li> <li>・訪日外国人の千葉への来訪及び消費を促すために、県産農林水産物を食べられる飲食店や味覚狩り等の体験施設などを紹介する外国語パンフレットを作成しました。</li> <li>・外国人観光客からの要望が多い公衆無線LAN環境を整備するため、主要観光施設や宿泊施設を中心に31箇所の整備に対して補助を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、整備予定であった1箇所は中止となりました。</li> </ul>
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、特にインバウンドについては各国の渡航禁止措置や我が国の入国制限措置により激減しており、県内全域の観光事業者が深刻な打撃を受けています。</li> <li>・観光庁の宿泊旅行統計調査によれば、千葉県外国人延べ宿泊客数は、全国第6位と高順位にありますが、その内訳をみると、千葉市、成田市、浦安市の3市が占める割合が約7割となっており、地域による偏りが見られます。</li> <li>・訪日旅行者の旅行形態(団体旅行、個人旅行)や嗜好等は国・地域により傾向が異なりますが、現在のPR用観光ガイドマップでは英語、中国語(簡体字・繁体字)、ベトナム語以外の国に対応できていない現状にあります。</li> <li>・公衆無線LAN環境の整備は、市町村からの要望数は一定の数で推移しており、市町村による整備はある程度進んだことが伺われます。</li> </ul>

<p><b>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況と訪日需要を見極めつつ、海外からの渡航が本格化し、インバウンド需要が回復した際には、一早く本県を目的地として選んでもらえるよう、SNSを活用した情報発信等の効果的なプロモーションが必要です。</li> <li>・外国人宿泊が多い千葉市、成田市、浦安市への宿泊需要の回復を促すとともに、その他の地域への周遊や宿泊を促す必要があります。</li> <li>・今後訪日旅行者の増加が見込まれる国に対して、旅行者の動向を調査してルートを作成し、母国語で情報発信する必要があります。</li> <li>・公衆無線LAN環境の整備は、県内の市町村等の整備はある程度進んだことが伺われるため、令和2年度をもって事業を終了しました。</li> </ul>
<p><b>課題を踏まえた 具体的な取組</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人の県内各所への周遊や宿泊を促すため、これまで県内宿泊施設や観光施設を利用する訪日団体バスツアーを催行した旅行会社への支援を行ってききましたが、より一層県内各地への周遊を促すよう、県内宿泊施設や観光施設と連携し、国内外の旅行会社への周知やセールスを強化していきます。</li> <li>・SNSを活用した情報発信等を行うことにより、県内観光地の魅力の周知を図るとともに、各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、誘客可能となった国・地域から国(JNTO)と連携して現地プロモーションを行っていきます。</li> <li>・今後の外国人観光客の動向を見ながら、対応言語の増加を図るとともに、新たな周遊コースについても検討します。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 地域の特性を生かした移住・定住の促進		取りまとめ担当課	総合企画部政策企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-5
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	69,000	68,200	155,380	99,760	
	決算額(千円)	63,316	67,942	99,484	36,930	

補助指標 (中間outcome)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	移住・定住に係る県の情報発信サイトアクセス件数	62,802件 (R元年度実績値)	65,000件 (R2年度目標値)	67,409件 (R2年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等と連携してオンライン移住フェアに出展(2回)し、ちばの暮らしに関する情報提供及び移住相談を行いました。(相談件数5件)</li> <li>県内市町村の移住関連情報等をWEB上に公開し、ちばの暮らしの魅力をPRしました。WEBページへのアクセス件数は目標を上回る67,409件となりました。</li> <li>移住相談を担当する市町村職員の資質向上を図るため、移住支援の専門家を講師に招き、オンライン研修会を開催(2回)しました。</li> <li>マッチングサイト「千葉県地域しごとNAVI」により、移住支援金対象法人等の企業・求人情報や暮らし情報等を一元的に発信し、県内企業への就労を促進しました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住検討者のニーズや検討段階に応じた、きめ細かな相談支援が十分ではありません。</li> <li>市町村によって、移住者の受入体制に差があります。また、県と市町村との協力・連携体制が十分には確立されていません。</li> <li>「千葉県地域しごとNAVI」の閲覧者を増やし、マッチングの機会の拡大に寄与する必要があります。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等における幅広い相談機会を確保するとともに、移住検討者ごとに、その志向や特性に合わせた情報提供や移住支援を実施する必要があります。</li> <li>県と市町村との効果的な役割分担による連携強化を図るとともに、市町村の移住者受入体制の充実が必要となります。</li> <li>県内への転職を希望する方に、より魅力的でわかりやすく県内の暮らしや企業情報を発信することや、県内企業の求人情報の拡大のために、参加企業を開拓する必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が行う移住・定住促進のための取組を支援するとともに、県内の移住・定住に関する情報を発信するため、市町村と連携してホームページなど各種媒体を活用した情報発信や移住フェアへの出展を行います。また、市町村の施策立案に役立つ各種情報の収集・分析を行うとともに、その成果の共有と相談に対応する市町村職員等の資質向上を図るため、研修会を充実させます。</li> <li>「千葉県地域しごとNAVI」では、関係市町や経済団体と緊密に連携し、魅力的なサイトになるよう県内企業の掘り起こしや、効果的な求人広告の掲載の支援を実施します。</li> </ul>

### Ⅲ－１－②国際都市として発展するCHIBAづくり

- 1 国際交流、国際協力の活発化
- 2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり
- 3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進
- 4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進
- 5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	1 国際交流、国際協力の活発化		取りまとめ担当課	総合企画部国際課		取組コード	Ⅲ-1-②-1
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	予算額(千円)	125,128	131,206	161,610	137,024		
	決算額(千円)	106,617	104,113	114,963	33,738		

補助指標 (中間outcome)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	県の国際交流・協力活動のネットワーク会議に参加する団体数	31団体 (R元年度実績値)	34団体 (R2年度目標値)	29団体 (R2年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力等ネットワーク会議は、新型コロナウイルス感染症の影響によりウェブ開催となりましたが、新型コロナウイルス感染症影響下での団体活動や災害時の外国人支援等、参加者に有益となるテーマで分科会を行い、関係団体同士の緊密な意見交換・情報交換を行いました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響から例年の交流はできなかったものの、姉妹州であるアメリカ・ウィスコンシン州とは、千葉ウィスコンシン協会が行う市民交流を支援するとともに、友好都市である台湾・桃園市とは、知事と市長のウェブ会談を行いました。</li> <li>県がこれまでにトップセールスを行った5つの国・地域(台湾、タイ、マレーシア、シンガポール及びベトナム)を対象として、Facebookを中心にインターネットを活用したPRを実施するとともに、海外現地メディアへのプレスリリースや成田国際空港における歓迎動画の放映等を通じて、千葉の魅力を広く海外に発信しました。</li> <li>高校生海外留学助成事業では、新型コロナウイルス感染症拡大のため、国の事業が中止となりました。</li> <li>スーパーグローバルハイスクール事業では、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけた、将来国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を推進しました。</li> </ul>
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力等ネットワーク会議は、ウェブ会議に慣れていない団体が参加に消極的になってしまったと考えられます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で人的交流が厳しくなっています。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、職員が出張する形での現地でのPRは今後も難しい状況が続くと予想されます。</li> <li>海外における千葉県の認知度は必ずしも高くありません。</li> </ul>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力等ネットワーク会議は、今後もウェブ会議で開催する場合は、参加への敷居を低くするための工夫をする必要があります。</li> <li>ウェブによる交流など、新たな交流形態を検討していく必要があります。</li> <li>様々な機会や広報媒体を使って、積極的かつ戦略的に千葉県の魅力を発信していく必要があります。</li> </ul>
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・協力等ネットワーク会議は、団体にとって関心のある議題を設定するとともに、ウェブ会議による場合は、開催周知の際に参加用ソフトウェアの使用方法を案内するなどの工夫を行うことにより、より多くの団体の出席を促します。</li> <li>ウェブを活用するなど、新たな交流形態による交流を実施してまいります。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の各国の状況を注視しながら、各イベントや広報媒体と、トップセールスフォローアップなど他の取組を効果的に組み合わせ、千葉県の魅力をさらに発信してまいります。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり		取りまとめ担当課	総合企画部国際課	取組コード	Ⅲ-1-②-2
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	19,733	23,403	22,225	42,019	
	決算額(千円)	17,476	18,727	21,927	24,913	

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	県の国際化施策に関する連携会議に参加する機関・団体数	80団体 (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	41団体 (R2年度実績値)	
語学ボランティア活動実績		75件 (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	20件 (R2年度実績値)		未達成
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	支援を必要とする外国人児童生徒一人当たりにかかる外国人児童生徒等教育相談員の時間(平均値)	20.1時間 (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	21.1時間 (R2年度実績値)		達成

<p><b>主な実施事項と成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人向け生活ガイドブック「ハローちば」に、新たにベトナム語版を追加し9言語としました。</li> <li>・各種会議では、新型コロナウイルス感染症の影響で一部を中止としたものの、ウェブ会議の活用などにより、民間団体や公的機関、市町村等、計41の団体と外国人県民支援施策に関する情報を共有するとともに、団体相互の連携を促進しました。</li> <li>・外国人県民が地域の一員として安心して生活するための地域日本語教育※を推進していくため、地域日本語教育に関する県内の実態調査を行い、その結果を踏まえて、具体的な取組みをまとめた「千葉県地域日本語教育推進事業プラン」を策定しました。</li> <li>・外国人の視点を活かして県施策への意見聴取や情報発信に協力してもらう「チーバくんパートナー」※を21名任命し、県が行うオンラインフォーラムへの参加やアンケートへの回答、新型コロナウイルス感染症に関する協力要請の外国人県民への周知などを行っていただきました。</li> <li>・県立高校26校(高校20校・特別支援学校6校)に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒224名(高校209名・特別支援学校15名)に対して、児童生徒の母語を理解する教育相談員45名(高校36名・特別支援学校9名)を派遣し、日本語指導、適応指導、保護者との連絡に必要な翻訳や通訳を行いました。</li> <li>・在留外国人の安全の確保に向けた総合対策に取り組むため、令和2年4月1日に部門横断的な推進体制を確立しました。</li> <li>・外国人雇用企業に対し、外国人が犯罪や事故に巻き込まれないための啓発活動を実施しました。</li> <li>・外国人技能実習生の監理団体、入国後講習機関、及び日本語学校において、外国人技能実習生や留学生に対し、防犯、防災、交通ルールについての防犯講話等を実施しました。また、防犯、防災、交通ルールの情報を掲載した外国語の広報チラシを作成し、配布しました。</li> <li>・外国人が集住する八千代市内の団地において、通訳帯同での巡回指導を実施し、「巡回連絡カード用多言語シート」を活用した巡回連絡カードの作成と併せ、防災対策等について指導を実施しました。</li> </ul> <p>※地域日本語教育:地域の日本語教室で、地域住民が中心となってボランティアで日常生活に必要な日本語を外国人に教育するもの。  ※チーバくんパートナー:「チーバくんと共に暮らしやすい千葉県づくりを目指すパートナー」の略称。</p>
<p><b>取組推進に当たったの問題点等</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が依然続いており、以前と同じ形式で各種会議を開催することは難しくなっています。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大によりオリンピック・パラリンピック東京大会が令和3年に開催延期となり、他の様々なイベントも中止が相次いだことで、語学ボランティアが活動機会を得にくい状態が続いています。</li> <li>・チーバくんパートナーについては、まだ各部局で十分に活用されていません。</li> <li>・外国人児童生徒等教育相談員については、別々の母国語を持つ生徒が複数入学することで、複数の教育相談員を必要とする学校が増加しています。特に定時制の課程においては、多数の生徒が在籍しており、教育相談員の申請も多い状況となっています。さらに、人材バンクのような制度がないため、各学校が相談員を見つけることが難しい状況にあり、郡部では顕著となっております。</li> </ul>
<p><b>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議は、開催形式を工夫し、また参加への敷居を低くするための工夫をする必要があります。</li> <li>・活動機会が少ない中でも語学ボランティアの能力やモチベーションが低下しないように努める必要があります。</li> <li>・チーバくんパートナーの活動機会を増やすための取組みを行う必要があります。</li> <li>・外国人児童生徒等教育相談員の選定のために、支援を必要とする生徒が在籍していた中学校との引継ぎ、県や市町村の国際交流センターの活用、NPOや県内の大学との連携等により、相談員の確保を図る必要があります。また、よりきめ細かな指導ができるように、派遣日数や時間及び配置等について改善・工夫等を行う必要があります。</li> <li>・外国人が犯罪や事件に巻き込まれないように、適切な情報提供を行う必要があります。</li> </ul>
<p><b>課題を踏まえた具体的な取組</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し柔軟な方法で開催することとし、ウェブ形式とする場合は開催周知の際に参加用ソフトウェアの使用方法を案内するなどの工夫を行い、多くの団体の出席を促します。</li> <li>・引き続き国際交流イベントやスポーツ大会等、ボランティアの活動機会に関する情報を関係機関から収集し、語学ボランティア制度の活用を図ります。</li> <li>・チーバくんパートナーの庁内への周知をより強化し、また市町村による活用についても検討します。</li> <li>・外国人児童生徒等教育相談員の配置を拡充するとともに、重点支援校に相談員支援コーディネーターを配置するなど受入体制の充実を図ります。</li> <li>・外国人児童生徒等に関する連絡協議会を開催し、県立学校に在籍している外国人児童生徒等の教育の充実を図るために、その効果的な指導の在り方等について協議するとともに、各学校における相談員の選定方法について情報共有することで、適切に相談員の確保を図ります。</li> <li>・各種活動のほか関係行政機関等との連携を図り、外国人が安心して暮らせるための取組みを進めます。</li> </ul>



総合計画政策評価帳票  
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進		取りまとめ担当課	商工労働部経済政策課	取組コード	Ⅲ-1-②-3
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	277,077	405,615	588,915	833,586	
	決算額(千円)	231,034	374,589	486,883	583,292	

補助指標 (中間outcome)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																						
	県産農林水産物の輸出に取り組む事業者・生産者団体数		92社・団体 (R元年度実績値)	81社・団体 (R2年度目標値)	88社・団体 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>補助指標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>48</td><td>48</td></tr> <tr><td>H23</td><td>33</td><td>33</td></tr> <tr><td>H24</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr><td>H25</td><td>33</td><td>33</td></tr> <tr><td>H26</td><td>47</td><td>36</td></tr> <tr><td>H27</td><td>46</td><td>39</td></tr> <tr><td>H28</td><td>46</td><td>40</td></tr> <tr><td>H29</td><td>71</td><td>50</td></tr> <tr><td>H30</td><td>80</td><td>78</td></tr> <tr><td>R1</td><td>92</td><td>81</td></tr> <tr><td>R2</td><td>88</td><td>81</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	48	48	H23	33	33	H24	30	30	H25	33	33	H26	47	36	H27	46	39	H28	46	40	H29	71	50	H30	80	78	R1	92	81	R2	88	81	達成	
年度	実績値	目標値																																										
H22	48	48																																										
H23	33	33																																										
H24	30	30																																										
H25	33	33																																										
H26	47	36																																										
H27	46	39																																										
H28	46	40																																										
H29	71	50																																										
H30	80	78																																										
R1	92	81																																										
R2	88	81																																										
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																						
	海外ビジネスセミナーの参加人数	1,033人 (R元年度実績値)	892人 (R2年度目標値)	1,367人 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>960</td><td>960</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,000</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>750</td><td>750</td></tr> <tr><td>H30</td><td>894</td><td>894</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,033</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,367</td><td>892</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	960	960	H28	1,000	1,000	H29	750	750	H30	894	894	R1	1,033	1,000	R2	1,367	892	達成																	
	年度	実績値	目標値																																									
	H27	960	960																																									
H28	1,000	1,000																																										
H29	750	750																																										
H30	894	894																																										
R1	1,033	1,000																																										
R2	1,367	892																																										
海外販路開拓に係る支援件数	9件 (R元年度実績値)	18件 (R2年度目標値)	14件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>17</td><td>17</td></tr> <tr><td>H22</td><td>19</td><td>25</td></tr> <tr><td>H23</td><td>16</td><td>10</td></tr> <tr><td>H24</td><td>14</td><td>10</td></tr> <tr><td>H25</td><td>14</td><td>11</td></tr> <tr><td>H26</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11</td><td>11</td></tr> <tr><td>H28</td><td>13</td><td>11</td></tr> <tr><td>H29</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr><td>H30</td><td>19</td><td>15</td></tr> <tr><td>R1</td><td>18</td><td>15</td></tr> <tr><td>R2</td><td>14</td><td>18</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	17	17	H22	19	25	H23	16	10	H24	14	10	H25	14	11	H26	10	11	H27	11	11	H28	13	11	H29	15	15	H30	19	15	R1	18	15	R2	14	18	未達成
年度	実績値	目標値																																										
H21	17	17																																										
H22	19	25																																										
H23	16	10																																										
H24	14	10																																										
H25	14	11																																										
H26	10	11																																										
H27	11	11																																										
H28	13	11																																										
H29	15	15																																										
H30	19	15																																										
R1	18	15																																										
R2	14	18																																										
県産農林水産物の輸出を進める商談会・海外フェア	7回 (R元年度実績値)	8回 (R2年度目標値)	8回 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7</td><td>4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>8</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	1	1	H22	1	2	H23	2	2	H24	3	4	H25	4	4	H26	4	4	H27	6	4	H28	7	4	H29	7	7	H30	9	7	R1	8	7	R2	8	8	達成
年度	実績値	目標値																																										
H21	1	1																																										
H22	1	2																																										
H23	2	2																																										
H24	3	4																																										
H25	4	4																																										
H26	4	4																																										
H27	6	4																																										
H28	7	4																																										
H29	7	7																																										
H30	9	7																																										
R1	8	7																																										
R2	8	8																																										

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに輸出に取り組む生産者団体等への助成を行うとともに、トップセールスで関係を構築したタイ、マレーシア、シンガポールにおける現地バイヤーと連携して、飲食店、小売店等でフェアなどを開催しました。</li> <li>県産水産物の価格向上による漁業者の所得向上を図るため、消費者ニーズにあった商品の開発や輸出にも対応した衛生管理を行う加工施設の整備を支援しました。</li> <li>海外ビジネスセミナーについて、WEB開催に変更したことで、参加者数が例年以上となりました。</li> <li>海外展開を図る県内の中小企業・小規模事業者に対し、米国の製品基準認証などの貿易実務支援のための専門家派遣を行いました。</li> </ul>
-----------	---

<p>取組推進に 当たった 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発事故の影響による一部の国・地域で続く輸入規制や農産物輸出に係る検疫条件等があります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大や海外の現地情勢等の影響で予定していたプロモーションや展示会出展を一部行うことができませんでした。</li> <li>・大企業に比べて人的・物的資源に限りのある中小企業が、自力で海外展開に関する情報やノウハウを十分に得ることや、実際に海外展開に踏み切るための体制を整備することは難しい状況です。</li> </ul>
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国やジェトロ※等と連携の上、諸外国の最新の輸入規制や市場動向、輸出の現状を把握し、輸出の促進へ効果的につながるPRや輸出環境の整備を図ることが重要です。また、海外の現地情勢やニーズ等に合わせたプロモーション等を行っていく必要があります。</li> <li>・海外展開を検討している中小企業を掘り起こし、県やジェトロが行う各種支援策を正しく理解し効果的に活用してもらう必要があります。</li> </ul> <p>※ジェトロ:独立行政法人日本貿易振興機構。日本企業の輸出支援、地域経済活性化支援、外国企業誘致支援などを行います。</p>
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出に取り組む生産者団体等が実施する販促活動や輸出環境の整備等に対して支援を行うとともに、新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、輸出の拡大が見込まれるアジア地域を中心に海外でのプロモーション等に取り組みます。</li> <li>・企業の海外展開を支援するジェトロ千葉、千葉県産業振興センター、千葉県貿易協同組合等支援機関との情報共有に努め、連携を密にすることにより、企業が抱える課題やニーズを把握し、適切な情報提供や支援につなげます。</li> </ul>

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進		取りまとめ担当課	商工労働部観光誘致促進課	取組コード	Ⅲ-1-②-4
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	231,332	228,146	255,582	266,074	
	決算額(千円)	204,972	192,086	208,762	96,642	

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	外国人延宿泊者数	4,495千人 (R元年度実績値)	4,700千人 (R2年度目標値)	1,107千人 (R2年度実績値)	
	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	行政活動目標 (output)	公衆無線LAN環境整備事業整備箇所数	38箇所 (R元年度実績値)	41箇所 (R2年度目標値)	31箇所 (R2年度実績値)	

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航制限のため、海外で開催された旅行博への出展、現地商談会への参加、現地旅行会社への訪問セールスは実施できませんでした。外国人向けPR用観光ガイド(英語・中国語(簡体字))を作成したほか、外国人(英語圏)向けWEBページやSNSを通じた情報発信等によりPRを実施しました。</li> <li>訪日再開後のインセンティブツアーの誘致に繋げるため、県内の事業者とともに台湾の旅行会社とオンライン商談会を実施しました。</li> <li>教育旅行については、受入れ実績はありませんでしたが、訪日再開後の誘致に繋げるため、台湾の教育関係者とオンライン意見交換会を実施しました。</li> <li>県内オリパラ競技会場及びその周辺からの周遊を意識して作成したガイドブックを、フランス語、英語、ドイツ語、タイ語、スペイン語及びオランダ語で増刷しました。</li> <li>外国人観光客からの要望が多い公衆無線LAN環境を整備するため、主要観光施設や宿泊施設を中心に31箇所の整備に対して補助を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、整備予定であった1箇所は中止となりました。</li> <li>訪日外国人の千葉への来訪及び消費を促すために、県産農林水産物を食べられる飲食店や味覚狩り等の体験施設などを紹介する外国語パンフレットを作成しました。</li> </ul>
取組推進に 当たっての 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、特にインバウンドについては各国の渡航禁止措置や我が国の入国制限措置により激減しており、県内全域の観光事業者が深刻な打撃を受けています。</li> <li>観光庁の宿泊旅行統計調査によれば、千葉県外国人延べ宿泊客数は、全国第6位と高順位にありますが、その内訳をみると、千葉市、成田市、浦安市の3市が占める割合が約7割となっており、地域による偏りが見られます。</li> <li>訪日旅行者の旅行形態(団体旅行、個人旅行)や嗜好等は国・地域により傾向が異なりますが、現在のPR用観光ガイドマップでは英語、中国語(簡体字・繁体字)、ベトナム語以外の国に対応できていない現状にあります。</li> <li>公衆無線LAN環境整備事業補助金については、市町村からの要望数は一定の数で推移しており、市町村による整備はある程度進んでいることが伺われます。</li> </ul>
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況と訪日需要を見極めつつ、海外からの渡航が本格化し、インバウンド需要が回復した際には、一早く本県を目的地として選んでもらえるよう、SNSを活用した情報発信等の効果的なプロモーションが必要です。</li> <li>外国人宿泊が多い千葉市、成田市、浦安市への宿泊需要の回復を促すとともに、その他の地域への周遊や宿泊を促す必要があります。</li> <li>今後訪日旅行者の増加が見込まれる国に対して、旅行者の動向を調査してルートを作成し、母国語で情報発信する必要があります。</li> <li>公衆無線LAN環境の整備は、県内の市町村等の整備はある程度進んでいることが伺われるため、令和2年度をもって事業を終了します。</li> </ul>

課題を踏まえた  
具体的な取組

- ・訪日外国人の県内各所への周遊や宿泊を促すため、これまで県内宿泊施設や観光施設を利用する訪日団体バスツアーを催行した旅行会社への支援を行ってききましたが、より一層県内各地への周遊を促すよう、県内宿泊施設や観光施設と連携し、国内外の旅行会社への周知やセールスを強化していきます。
- ・SNSを活用した情報発信等を行うことにより、県内観光地の魅力の周知を図るとともに、各国の新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、誘客可能となった国・地域から国(JNTO)と連携して現地プロモーションを行っていきます。
- ・今後の外国人観光客の動向を見ながら、対応言語の増加を図るとともに、新たな周遊コースについても検討します。

総合計画政策評価帳票  
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化		取りまとめ担当課	商工労働部経済政策課	取組コード	Ⅲ-1-②-5
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	2,656,756	3,097,869	4,986,742	1,733,841	
	決算額(千円)	2,557,065	2,971,807	4,860,670	1,641,121	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																			
	幕張メッセ来場者数	698万人 (R元年度実績値)	510万人 (R2年度目標値)	67万人 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>来場者数実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>506</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>532</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>548</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>575</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>545</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>591</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>655</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>709</td><td>600</td></tr> <tr><td>H30</td><td>721</td><td>650</td></tr> <tr><td>R1</td><td>698</td><td>690</td></tr> <tr><td>R2</td><td>67</td><td>510</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	506		H23	532		H24	548		H25	575		H26	545		H27	591		H28	655		H29	709	600	H30	721	650	R1	698	690	R2	67	510
年度	実績値	目標値																																							
H22	506																																								
H23	532																																								
H24	548																																								
H25	575																																								
H26	545																																								
H27	591																																								
H28	655																																								
H29	709	600																																							
H30	721	650																																							
R1	698	690																																							
R2	67	510																																							

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>MICE<sup>*</sup>については、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー(CCB-IC)を中心として、市町村や関係機関との連携により、誘致に取り組みました。令和2年度は、CCB-ICにより、「国際シロイヌナズナ研究会議(ICAR 2023)」など国際会議(JNTO基準<sup>**</sup>)の誘致に52件成功しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの誘致活動が中止やハイブリッド、オンライン開催となりました。</li> <li>令和2年4月新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため「緊急事態宣言」が発出され、幕張メッセにおいては、令和2年4月14日から5月31日まで休館としました。また、幕張メッセが7競技の会場となっている東京2020オリンピック・パラリンピックが開催延期となり、さらに「CEATEC」などの大型展示会・イベントが現地開催からオンライン開催に変更となりました。さらに、令和3年1月8日から3月21日まで、2回目となる緊急事態宣言が発出され、開催予定であった展示会、イベント、会議、コンサートなどが中止、延期やオンライン開催へ変更となりました。このような状況により、施設来場者数は前年度の10分の1以下の67万人となりました。</li> <li>県と千葉県からなる「元氣な幕張新都心をつくる県市連絡会議」を開催し、幕張新都心の更なる活性化に向けて協議しました。</li> </ul> <p>MICE※: 企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント・展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。 JNTO基準※: 参加者50人以上、参加国3カ国以上、会期1日以上等</p>
-----------	---

取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>MICEについては、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの誘致活動が中止やハイブリッド、オンライン開催となりました。また、近年、国際的な誘致競争が激化する中で、国内においても各都市でMICE誘致に意欲的に取り組んでおり、競合施設の拡張等が行われるなど、国内外における誘致競争が厳しくなっています。</li> <li>幕張メッセについても、新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止やハイブリッド、オンライン開催となりました。また、開設から30年以上が経過し、施設の老朽化が見受けられます。</li> </ul>
---------------	---

問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020オリンピック・パラリンピックの開催都市としてのブランドを生かし、千葉の魅力戦略的にPRし、本県へのMICE誘致につなげていく必要があります。また、オンライン形式など新しい形式の誘致活動に対応していく必要があります。</li> <li>幕張メッセについては、施設の老朽化対策のための大規模改修を着実に実施するとともに、新しい開催形態に対応するため、主催者のニーズに合わせた施設の機能強化を検討していく必要があります。また、他の競合施設の拡張により、催事の誘致競争が激化することから、既存催事等の継続と新たな催事等の誘致の強化が必要です。</li> </ul>
--------------------	---

課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>MICEの誘致については、新しい形式の誘致活動に対応していくとともに、MICE関係機関との連絡会議を通じるなどしてCCB-ICをはじめ関係機関との連携強化を図り、情報共有や誘致活動を行うことなどによって、より一層の誘致競争力の強化に努めてまいります。</li> <li>現在幕張メッセで開催している催事等の継続誘致を強化するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場としての知名度を活かし、国際的な催事や音楽・文化系のイベントなど、利用分野の拡大に努めます。また、施設の老朽化対策のための大規模改修を着実に実施するとともに、主催者のニーズに合わせた施設の機能強化を検討してまいります。</li> </ul>
---------------	---